

勝海舟記念館企画展

KOROKU

-海舟の息子・勝小鹿の生涯-

ニュー
フランス
ウキ

米
国
海
軍
校

2026.8.21 Fri - 12.27 Sun

ギャラリートーク 9.12 Sat/11.29 Sun 14:00~

大田区立 勝海舟記念館

Ota City Katsu Kaishu Memorial Museum

■開館時間 午前10時~午後6時

※毎週月曜(祝日の場合は翌日)休館

10月26日(月)、27日(火)は一部展示替えのため休館

■入館料 一般300円、小中学生100円(各種割引有り)

■所在地 東京都大田区南千束2-3-1

■電話 03-6425-7608



※グッズやイベント等の最新情報は、右二次元コードからホームページをご覧ください。



KOROKU

勝海舟記念館企画展

海舟の息子・勝小鹿の生涯

2026年8月21日(金)～12月27日(日) ※10月26日、27日は一部展示入替のため休館

慶応3(1867)年10月の大政奉還、続く同年12月の王政復古を経て、日本国内では京都新政府と旧幕府との間で戊辰戦争が起きました。この最中、国家のために西欧の技術・文化を習得しようと海外へ留学していた若者達があります。その一人が勝海舟の長男・勝小鹿(1852～92)です。海舟の教えを受けて幼少期から勉学に励み、期待をかけられて育った小鹿は、慶応3年7月にアメリカへ渡り、ラトガースカレッジ・グラマースクール、次いでアメリカ海軍兵学校で10年に及ぶ留学生活を送りました。明治10(1877)年の帰国以降、父が創業に携った大日本帝国海軍に入りましたが、間もなく病を患い、同25年に志半ばで早逝します(享年41)。このため、小鹿の存在と事績は父の陰に隠れがちで、ほとんど知られてきませんでした。

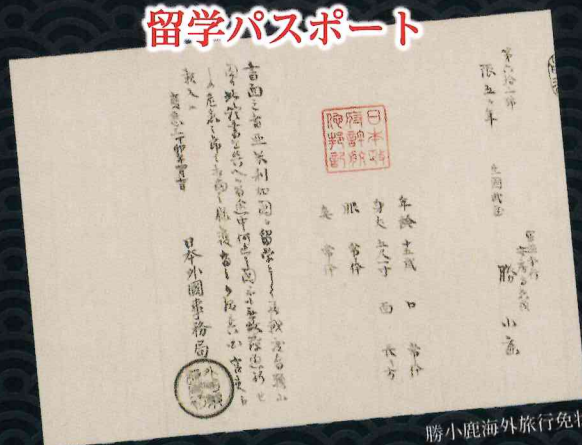
本展では、当館で新たに見出された複数の小鹿関連資料の中から、特に留学時代にまつわる手紙や書類などの資料を中心に紐解き、また、貴重な刀や肖像写真なども出陳し、その知られざる生涯を明らかにします。



復元してよみがえる帰国後の姿

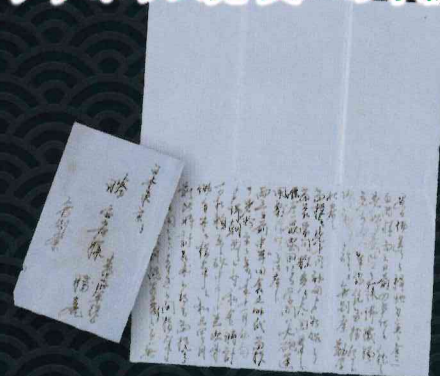
勝小鹿復元肖像写真

留学パスポート



勝小鹿海外旅行免状

アナポリス発 父への手紙



勝海舟宛勝小鹿書簡

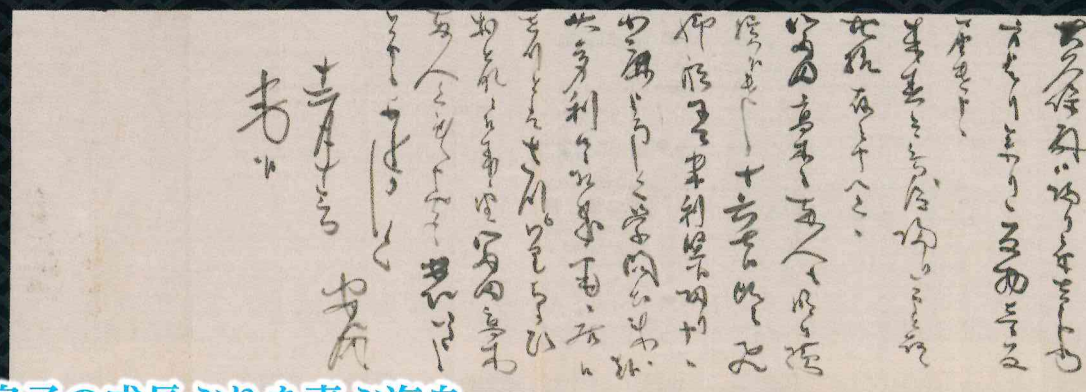
当館初の刀剣展示
小鹿の刀公開!

勝小鹿所用海軍刀・短刀

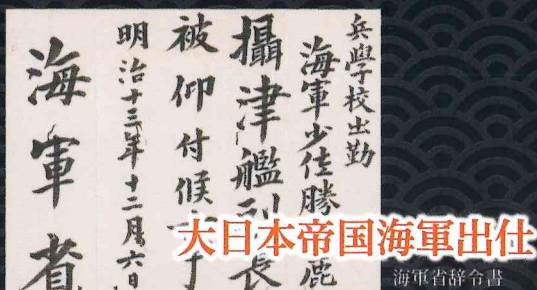
息子の成長ぶりを喜ぶ海舟

小鹿が明治10年以降、海軍軍人として身に着けていた海軍刀(脇差)と、短刀。どちらも江戸時代で作刀されたものです。

本展では、新たに研ぎ出され往時の輝きを取り戻した姿をご覧いただけます。



留守宅宛勝海舟書状



海軍省辞令書